

大分県大野郡内の森林所有者を対象とした シカに関するアンケート調査

大分県林業試験場 高宮 立身

1. はじめに

シカによる農作物への被害が近年急増しており、今や全国的な問題となっている。大分県林業統計によると、大分県における農林作物への被害の推移は、平成元年に被害面積34ha、被害額6,101千円であったものが、平成4年には68ha、20,818千円、平成8年になると639ha、162,580千円と最近になって急増している。それに伴い狩猟及び有害獣として捕獲される頭数も増加している¹⁾。地域によって恒常的に被害が発生し、農林業経営に深刻な打撃を与えている所もある。県では、シカ被害防止対策として、忌避剤散布や侵入防止用のネット設置の経費に対して補助している。また、有害鳥獣に関する事務の市町村への権限委譲や、一部地域におけるメスシカの狩猟獣化など被害軽減に取り組んでいる。

ただ、本県において、シカに関するアンケート調査を実施した例はない。そこで、筆者が当時勤務していた大分県大野地方振興局管内の森林所有者を対象として調査を行い分析したので、その結果を報告する。

2. 調査対象地の概要と調査方法

大野郡は大分県の南部に位置し、南には祖母・傾山系があり、そこで熊本、宮崎両県に接している。森林面積55千haのうち民有林は85%にあたる47千haである。人工林は43%と県平均の55%に比べて低いが、この地域は乾椎茸の一大生産地域であり、コナラ・クヌギ林が多く林立しているためである。平成3年~7年までの造林面積は平均130haであるが、椎茸価格や木材価格の低迷等により年々減少している。

調査対象者数は100人とし、大野郡内の森林所有者のうち平成7年度造林補助金交付申請書(下刈)の内訳書から大字単位で偏りが無いよう選び出した。アンケート用紙は平成7年12月に郵送し、①シカの生息分布や被害状

況、②防除実施の有無、③シカ対策についての考え方等について回答してもらい分析した。

3. 結果及び考察

郵送後10日間で74人から回答があり、この問題への関心の高さが伺い知れた。分析結果については以下のとおりである。

(1) シカの生息域

「住んでいる付近にシカが生息しているか」について74人中50人、68%の所有者が「生息している」と答え、これを地図に落とすと事前の被害調査による被害域とほぼ一致し大野郡4町村(野津町、三重町、清川村、緒方町)に分布していることが示された(図-1)。また、80%の所有者が全国的なシカ被害について知っていた。さらに「生息している」と答えた方50人中41人、82%の所有者がシカの生息密度が最近高くなったと感じており、原因について①植林によって餌となる草本類が増えたから、②メスシカを駆除しないから、③休猟区が多くなったからと考えていることがわかった。

(2) 被害形態

「所有山林がシカ被害を受けたことがあるか」について74人中39人、53%の所有者が「ある」と答え、樹幹の剥皮や、幼齢造林地での枝葉採食被害が大部分を占めていた。

(3) 被害対策

(2)で被害にあった所有者に対して「被害対策を実施したか」について聞いてみたところ、15人、36%の所有者が「実施した」と回答し、「被害の状況により検討する」と答えた方が2人、5%いた。防除手段として、①有害鳥獣駆除による捕獲、②防護柵の設置、③忌避剤の散布を行っていた。特に有害鳥獣駆除申請をしたとの回答数が多かった。そのほかには爆音器、電気柵のほか髪の毛を植栽木にぶら下げたと答えた方もいた。

(4) 今後の対策についての考え方

シカ対策に対する考えを聞いたところ、「被害が発生すれば有害鳥獣駆除により捕獲する」と答えた所有者が最も多く67人中32人、48%と半数を占め、次いで「被害が出ないよう徹底的に駆除すべきだ」と答えた方が17人、26%を占めた。一方「野生鳥獣との共存共栄から防護柵の設置や忌避剤の散布により対処する」と答えた所有者は12人、18%と少数であった(図-2)。今回の調査結果では74%が被害を受ければ駆除すると考えていることがわかった。中でも、26%の所有者が「徹底的に駆除すべきだ」と考えていることはシカ被害がいかに深刻な問題となっているかを示す結果であり、実効的な対策が急がれる。

4. 終わりに

今回大野郡内の森林所有者を対象としたが、都市住民(例えば大分市)に同じような質問をすれば、おそらく「野生鳥獣との共存共栄ができる対策をとるべき」との結果がでるものと思われ、都市住民とのシカに対する意識の違いがかなり鮮明にでるものと推測された。今後、対象範囲を広げて意見を聞いてみる必要がある。

引用文献

- (1) 大分県林業水産部：平成8年度大分県林業統計，pp. 198~203，1997

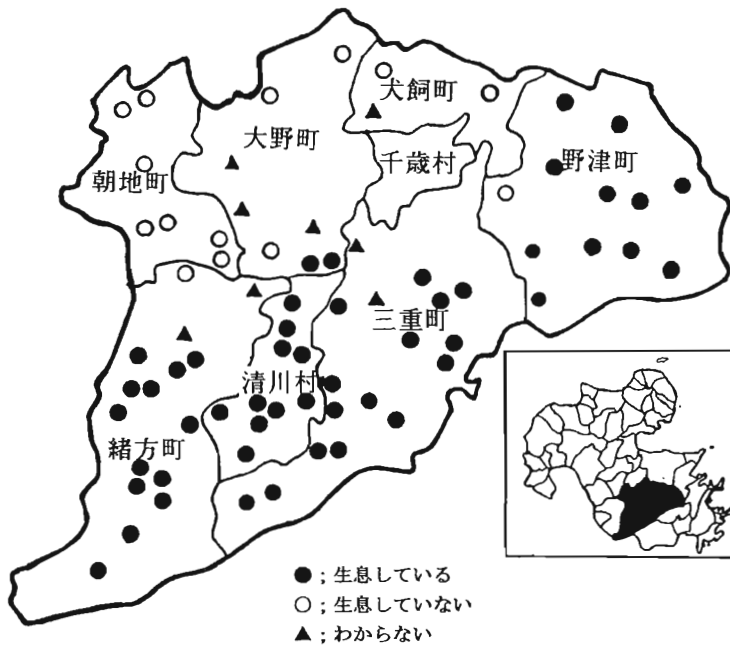


図-1 アンケート調査結果から作成したシカ生息分布図

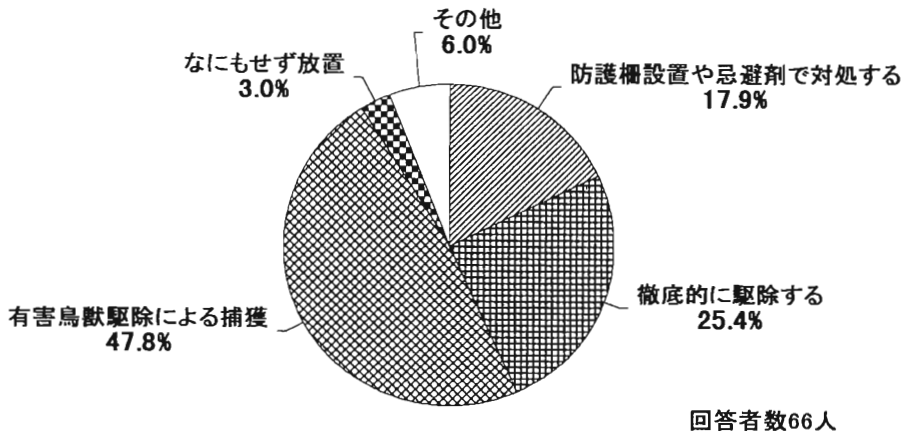


図-2 シカ対策について